

## 長崎県立大学シーボルト校生協 新学期における新入生向け活動

第014号  
(通算567号)



[ 新学期 ]

### 取り組み概要

日時：3/26.27.28  
場所：学内体育館/長崎市内  
参加者数や組合員の反応：  
新入生290名に対して、話そう会49名、新歓  
旅行25名の参加がありました。

背景や概要：  
入学前に新入生同士や先輩とお話をする場  
を、入学前の様々な不安に対応していきたい  
という背景で企画が行われています。

### POINT.1

## 話そう会 (3/26.27)

2日間にわたって開催された「話そう会」は新入生同士の交流を目的に、計5個の交流コンテンツを用意していました。特に印象的であったものとしては、企画最後にある学科ごとのトークタイムがあげられます。学部学科ごとに分かれて先輩の学生委員が新入生の入学後の不安や疑問を解消する時間をとることができていました。また終わった後は新入生同士での交流が生まれていたところも教訓点です。

体育館で座って行うことによってお互いの距離が近いという点と、企画の入念りハもあり3時間の間でも仲良くなれるプログラムになっていました。カメレオン企画といって、学生委員が新入生に交じっていたのをカミングアウトする時間は一番の盛り上がりでした。



### POINT.2

## 新歓旅行 (3/28)

新入生でグループを組み長崎の名所を回ることで、新入生同士の親睦を深める企画です。また県外からの進学も多いシー大生に長崎市内近郊を知ってもらうという目的もあります。当日は班ごとに学生委員が付き添って、雑談を交えつつ誘導をしていました。

また本企画では新入生同士のつながりだけでなく、学生委員と新入生のつながりを作ることもできていました。本企画に参加した約60%の参加者が学生委員会に入っていました。このように学生委員を身近に感じる機会が多いことが、組合員数に占める学生委員の割合が6.3%という高水準を維持できている理由の一つだと思われます。

